

水平積みで安全施工！
裏コン・型枠不要！
施工が簡単・早い！

NETIS・KK-080003-VE

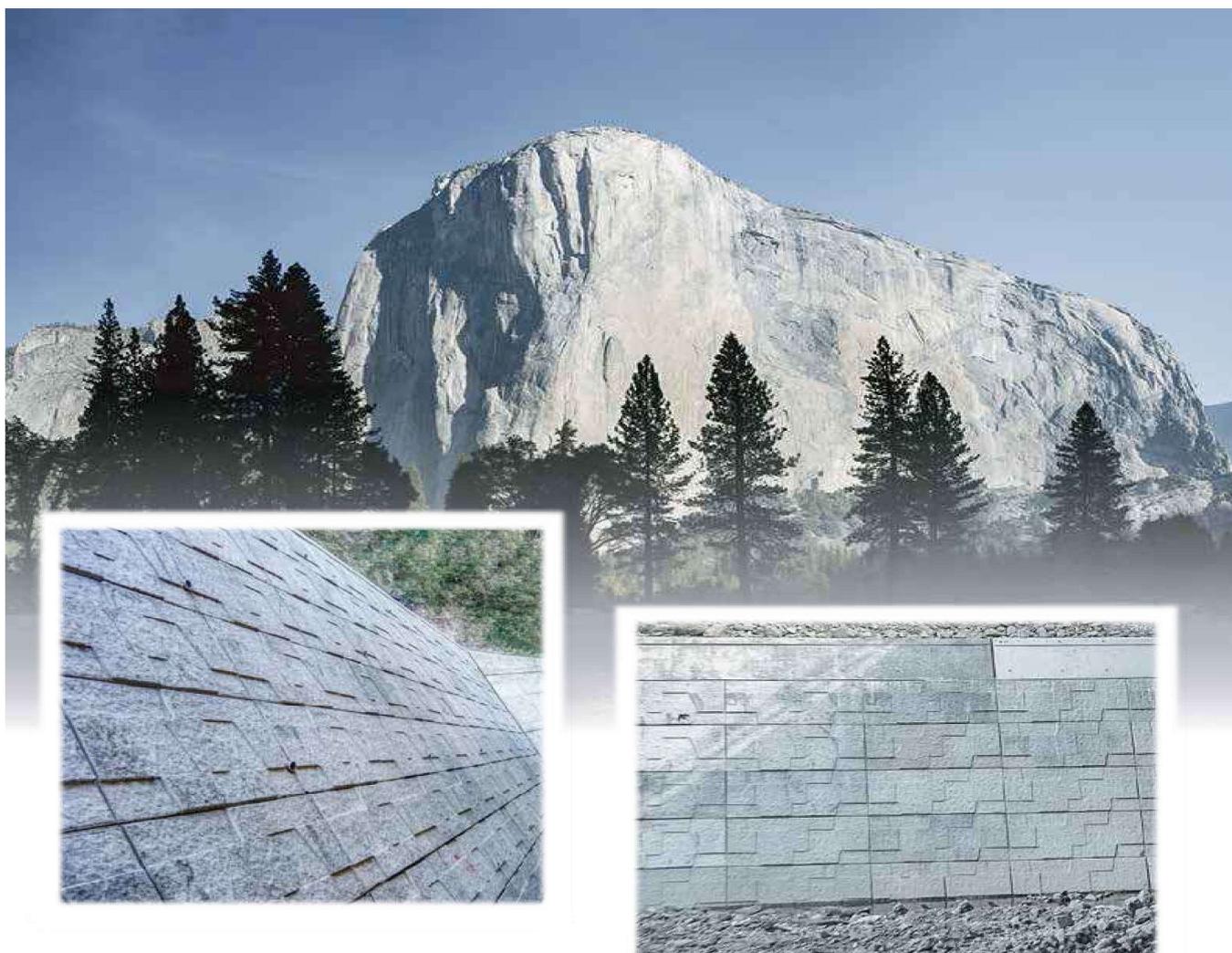
明度証明取得商品

テクスチャー証明取得商品

宅造大臣認定基準適合商品

レベロック

(水平自立積大型ブロック)



地域の豊かな暮らしを願い
みなさまのお足元の安全を支えています

施工性に優れた、レベロック(水平ブロック)です。
自立式の大型化した積みブロックで、表面は自然と調和する
石模様です。



レベロック 5分勾配35型 水平自立写真

レベロック(水平ブロック) 5つの特長

1. 優れた構造安定性

ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっており、**一般的な積ブロックと同様の使用が可能です。**

2. 施工が簡単、安全、早い

ブロックは**すべてのサイズ、すべての勾配で水平自立する為**、熟練工でなくても、誰でも**簡単に、安全に、短期間**に施工できます。

3. 優れた経済性

製品のサイズが1㎡/個と大型なため、重機施工となり積みスピードが大幅にアップします。さらに、裏コン対応用のブロックを使用することで**裏型枠・裏コン作業が不要**となりさらなる低コストの施工が可能となります。

4. 宅地造成工事に使用可能

この製品は宅地造成規制法、第15条に関する国交省告示(第1485号)に定められたコンクリートブロック練り積み擁壁に関する**各号の基準をすべてクリア**しており、**大臣認定擁壁ブロック同等品**として宅地造成工事に使用可能です。

5. あらゆる環境にマッチ

ブロック表面の模様は自然景観にもよくなじむ石模様です。

NETIS・KK-080003-VE

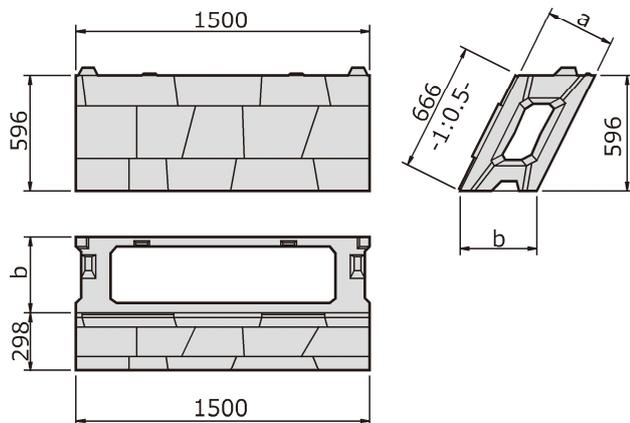
国土交通省 新技術情報提供システム



レベロック(水平ブロック)

5分勾配用

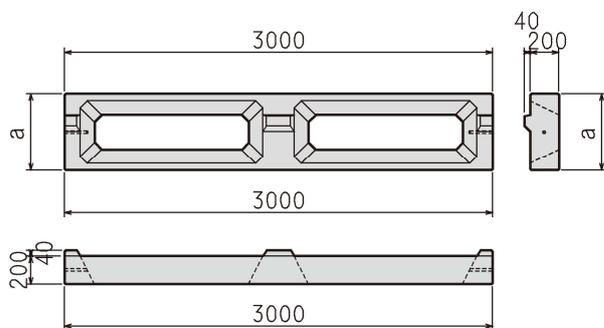
Aタイプ(666×1500)



規格	a	b	標準重量
35型	350	391	435kg
50型	500	559	475kg

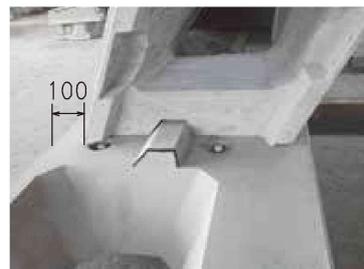
※半切製品(Bタイプ(666×750) Cタイプ(333×1500))も製造可能です。

基礎ブロック



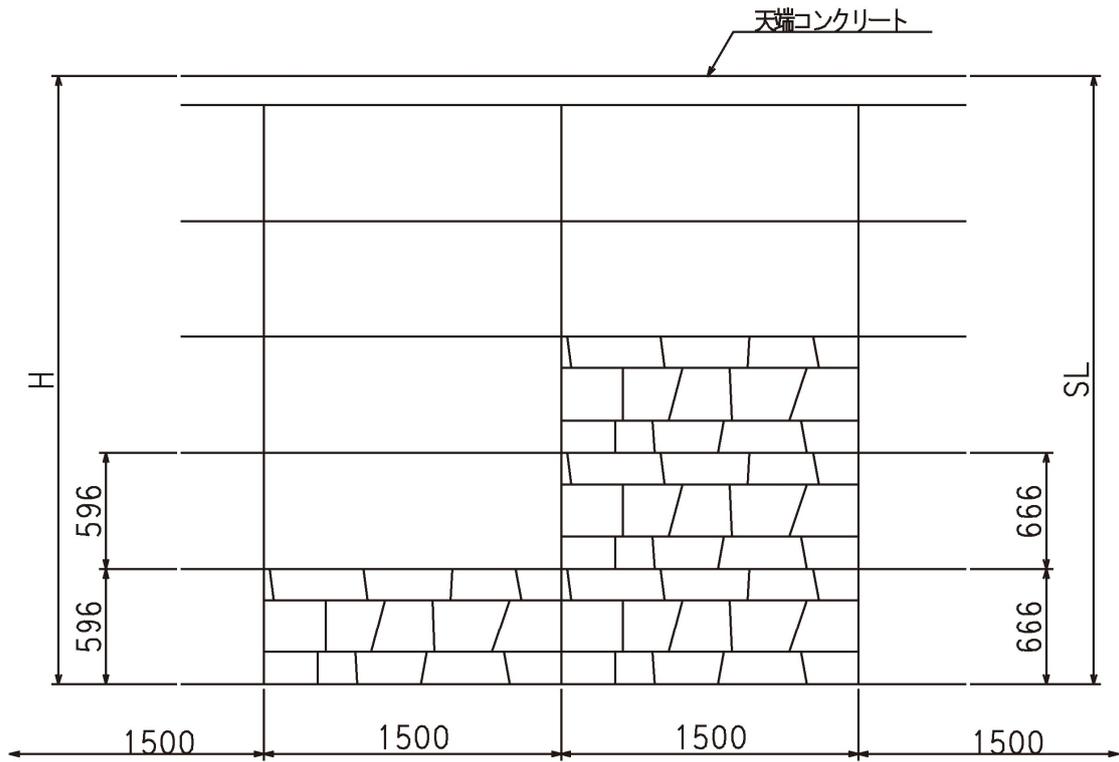
規格	a	標準重量
35型	550	365kg
50型	710	585kg

※L=1, 500mmも製造可能です。

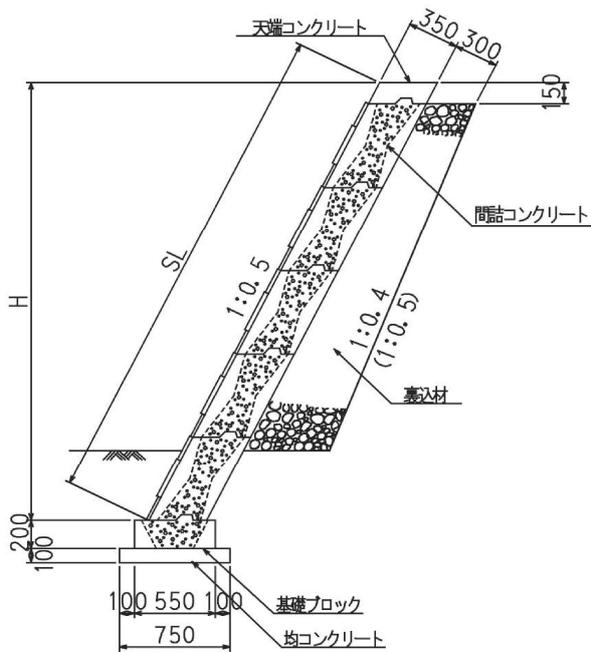


※基礎ブロック上段の突起の斜面が緩やかな方がブロック前面になります。

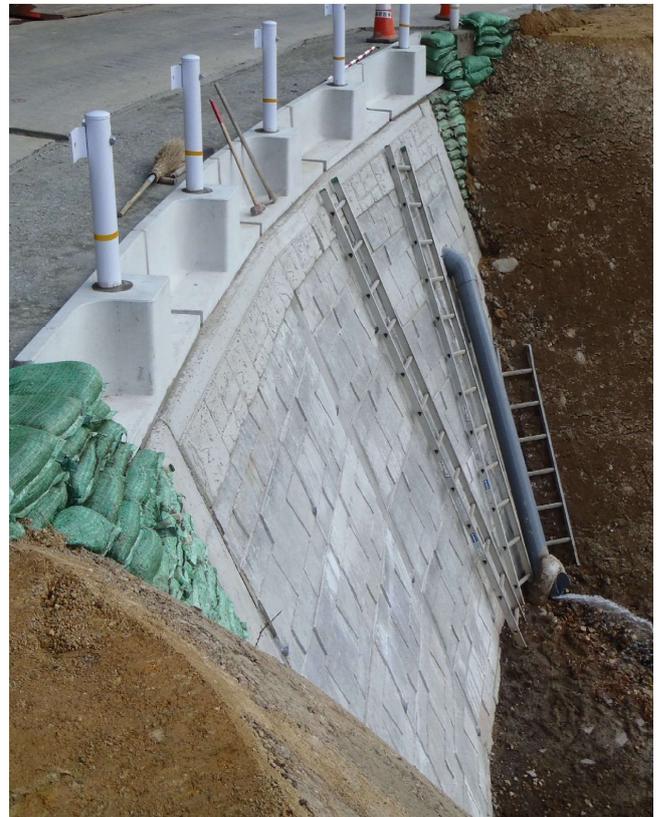
展開図



断面図



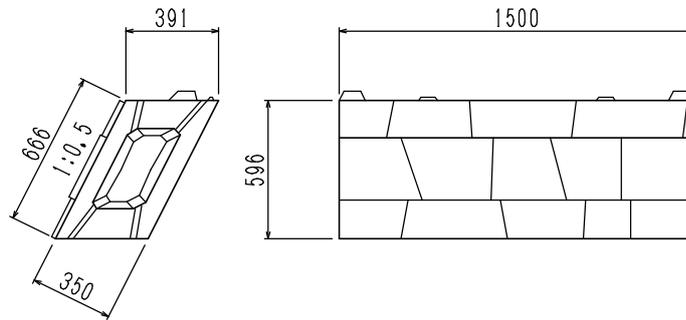
※現場打基礎等や状況に応じて、ズレ止筋(D16×400 etc750)を使用します。



↑ レベロック天端に独立型防護柵基礎「プレガード」を使用

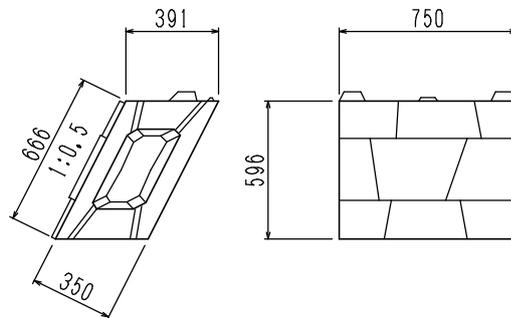
レベロック(水平ブロック) 35型

Aタイプ
666×1500



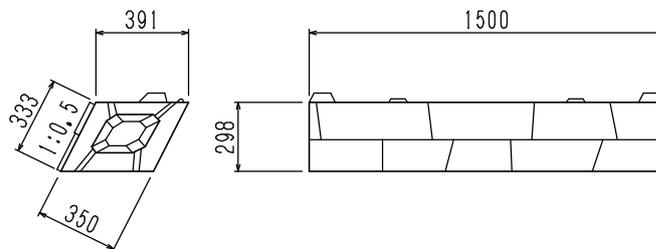
参考質量(kg)	間詰体積(m ³)
435	0.178

Bタイプ
666×750



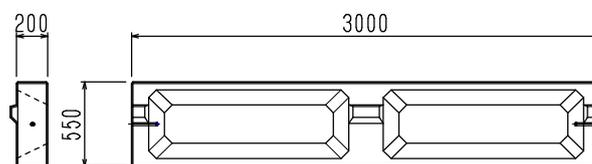
参考質量(kg)	間詰体積(m ³)
255	0.072

Cタイプ
333×1500

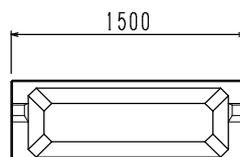


参考質量(kg)	間詰体積(m ³)
205	0.094

基礎ブロック



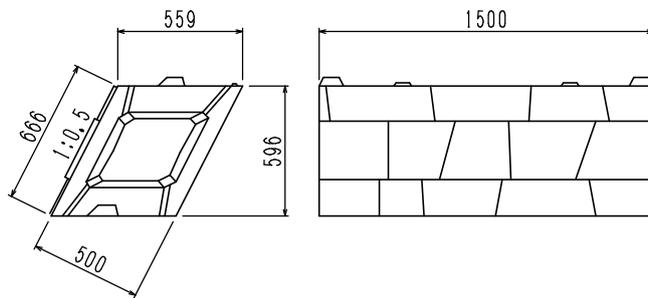
参考質量(kg)	間詰体積(m ³)
365	0.167



参考質量(kg)	間詰体積(m ³)
180	0.084

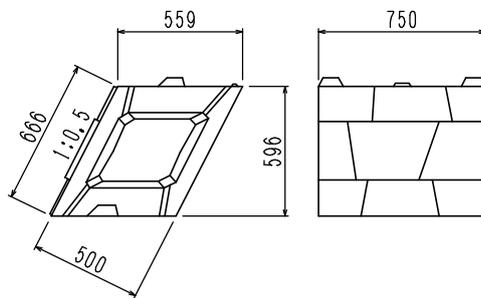
レベロック(水平ブロック) 50型

Aタイプ
666×1500



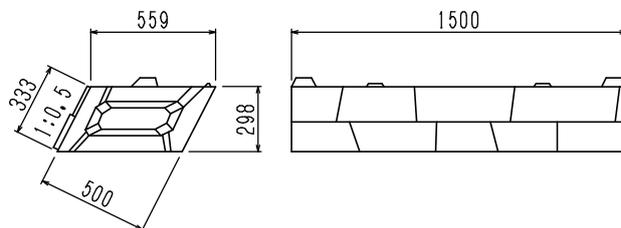
参考質量 (kg)	間詰体積 (m ³)
475	0.310

Bタイプ
666×750



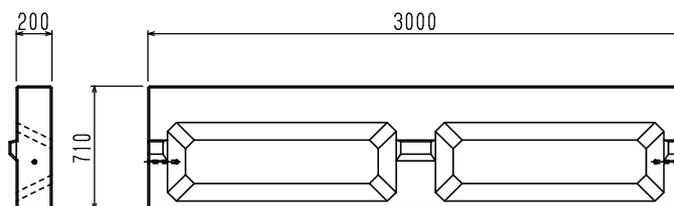
参考質量 (kg)	間詰体積 (m ³)
290	0.132

Cタイプ
333×1500

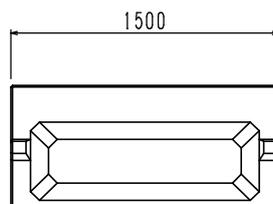


参考質量 (kg)	間詰体積 (m ³)
255	0.147

基礎ブロック



参考質量 (kg)	間詰体積 (m ³)
585	0.167



参考質量 (kg)	間詰体積 (m ³)
290	0.084

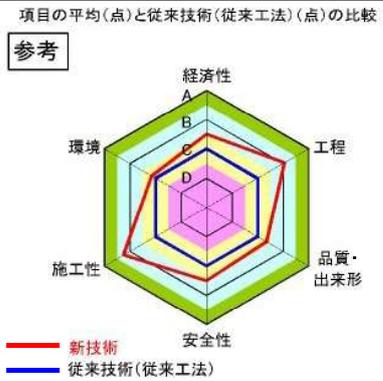
活用効果評価結果

通 知 用

平成30年度

中国地方整備局 / 新技術活用評価会議

NEITS 情報	開発目標	経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上													
	新技術登録番号	KK-080003-VE	区分	製品	有用な技術の位置づけ	活用促進技術									
	分類	共通工 - 擁壁工 - 石・ブロック積(張)工 - コンクリートブロック工													
	新技術名	水平ブロック (副題: 自立式の水平積みによる大型ブロック積み)													
	比較する従来技術(従来工法)	コンクリートブロック積み													
	新技術の概要及び特徴	自立式の水平積大型コンクリートブロックで、1個の法面積が1㎡と広く、裏込めコンクリート工を必要としないので施工性、経済性が向上する。また、断面形状が平行四辺形で重心位置が底面内に存在し、転倒しにくい構造で安全性にも配慮した大型擬石化粧ブロックである。													
活用効果評価	所見	<p>〔経済性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の経済性については、工期が短縮できるため、従来技術に対して優れる。 <p>〔工程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の工程については、ブロックが大型化したこと、および裏込めコンクリートが省略できるため、従来技術に対して優れる。 <p>〔品質・出来形〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の品質・出来形については、従来技術に対して同等である。 <p>〔安全性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の安全性については、ブロックを水平に据え付けることができるため、安定性が良く、従来技術に対して優れる。 <p>〔施工性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の施工性については、専門工への依存度が減少するため、従来技術に対して優れる。 <p>〔環境〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本技術の環境については、従来技術に対して同等である。 													
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	<p>・評価結果は安定している。また、従来技術も妥当と判断できるため継続調査は実施しない。よって、次回以降の評価は不要とし、情報識別記号を「-VE」とする。</p>													
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水抜きを設置する位置(製品の薄肉箇所)が決まっている。 ・水抜き孔を研る際、周辺が欠けやすい。 ・ブロックのかみ合わせに余裕がないため微調整が難しい。 													
	当該技術における改良点及び要望	<ul style="list-style-type: none"> ・水抜き専用ブロックの製作 													
参考	対象工事	1	堤防嵩上げ工事	従来技術: コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)										
		2	道路舗装工事	従来技術: コンクリートブロック積み	施工者希望型(契約後提案)										
活用効果調査結果	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)	
		H25	H26	H27	H27	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H29			
		経済性	B	B	B	C	C	C	B	C	C	A	B	C	
		工程	C	B	A	B	B	B	B	B	A	A	B	C	
		品質・出来形	C	B	B	C	C	B	C	B	C	B	C	C	
		安全性	C	R	R	B	C	C	A	C	R	R	B	C	
		施工性	B	B	A	B	B	B	A	B	A	A	B	C	
		環境	C	C	C	C	C	C	B	C	C	B	C	C	
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		総合評価点	C	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	C
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい		活用を検討したい		場合によっては活用することもある		技術の改良を強く望む		優位性における判定						
	10% [1件/10件]		60% [6件/10件]		30% [3件/10件]		0% [0件/10件]		<ul style="list-style-type: none"> A 極めて優れる B 優れる C 従来技術と同等 D 従来技術より劣る 						
追跡調査の必要性	不要										備考				
追跡調査	なし														



施工写真



施工写真



施工要領

●レベロック(水平ブロック)●

10㎡当り

名 称	形状寸法		全数量	単位	備 考
	規 格				
レベロック			10.000	個	
間詰コンクリート	5分	A35	1.775	m ³	
		A45	2.622		
		A50	3.100		
		A55	3.425		
	4分	A35	1.732		
		A45	2.535		
		A50	2.991		
	3分	A35	1.710		

●基礎ブロック●

10㎡当り

名 称	形状寸法		全数量	単位	備 考
	規 格				
基礎ブロック			3.333	個	
間詰コンクリート	A35/A45/A50/A55	18N-8-25	0.557(0.167)	m ³	

※1. ()内は製品1個あたりの数量です。

※2. 必要に応じて3㎡に1ヶ所、水抜きブロックを使用



施工要領

1. 基礎ブロックの布設

均しコンクリートを設置した後、所定の位置に基礎ブロックを布設し、間詰コンクリートを天端まで打設します。

2. 1段目のブロック布設

ブロックを布設した後、ブロックの裏側から良質土、又は裏込材で埋戻し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。

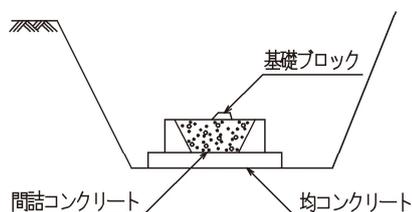
3. 2段目以降のブロック布設

ブロックを布設した後、裏込材を充填し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。(必要に応じて水抜きパイプを設置)

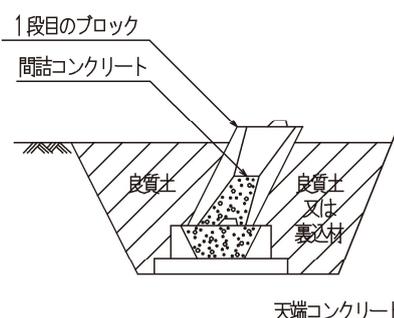
4. 天端コンクリート

天端コンクリートを施工して完了です。

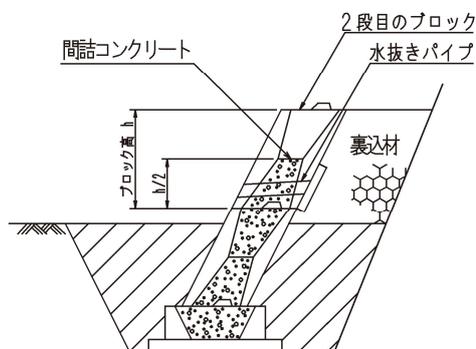
①



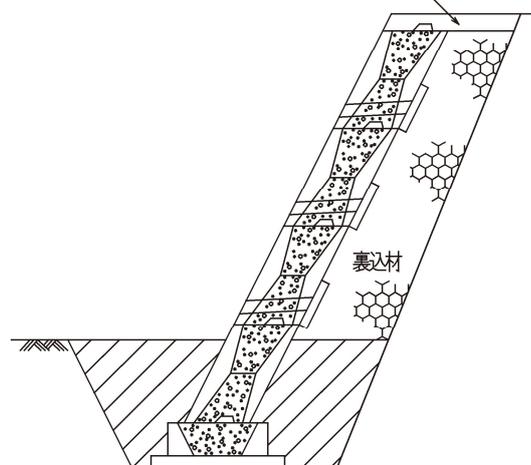
②



③



④



保管・取扱いに関する注意事項

- 製品本来の目的・仕様以外でご使用になると危険ですので十分注意してください。
- 作業時には関係者以外の方が現場に立ち入らないように十分注意してください。
- リフト及びクレーンでの製品の移動時は荷崩れしないよう、静かに移動してください。
- 施工治具(吊りワイヤー、金具等)は使用前に十分に点検を行ってください。
- 施工治具の製品への取り付けは確実に行ってください。
- 重量物ですので、据え付け吊り込み中は、製品の下に入らないでください。
- 現場での作業時には、適切な保護具(ヘルメット、手袋、安全靴)をご使用ください。

カタログご利用にあたってのお願い

- このカタログに掲載の製品は、平成30年3月現在のものです。
- このカタログは、当社取り扱い製品の主要事項を掲載したものです。
詳しい説明、使用図面等さらに詳しい資料を必要とされる場合には、担当者までお申し付けください。
- 掲載製品の中で、一部取り扱いできない地区・地域があります。
- 掲載製品の規格寸法につきましては、成型寸法となっておりますので表面加工により実寸法とは異なる場合があります。
- 単体図・展開図・断面図は参考例ですので、ご使用にあたっては設置場所、設置条件を考慮してください。
- 製品質量は参考値のため、仕様材料(セメント・骨材等)により、若干の変動があります。
- カタログ以外の製品、および特注品についても、設計・製作いたします。担当者までお申し付けください。
- 掲載製品の色につきましては、印刷の関係上、実物とは多少異なる場合があります。